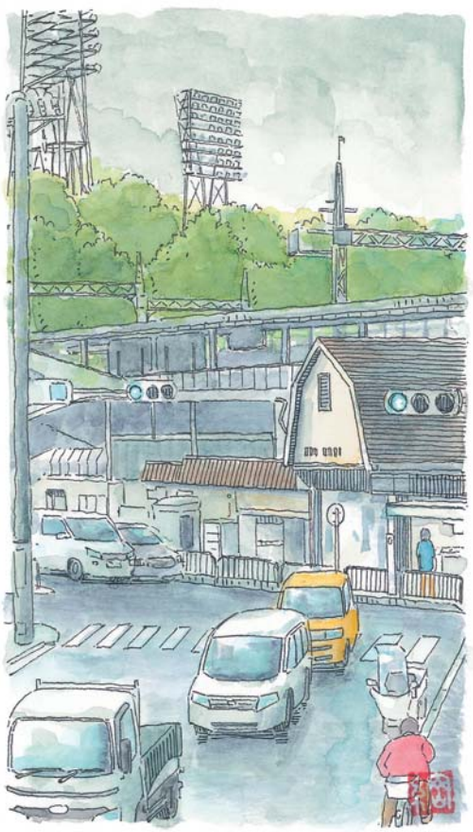
阪急沿線 80駅目 ちょい駅散歩

“京の西の極み”で見つけた京体験処

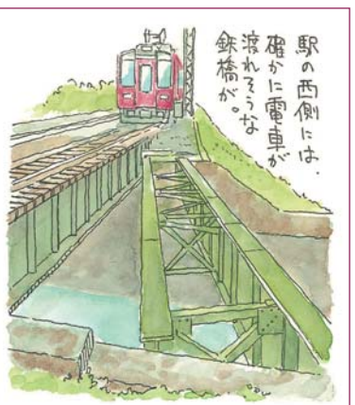
“京の西の極み”と書く駅名は京都の西の外れという意味から付いたものだが、それも今は昔。同駅のある洛西は、風光明媚な観光地として人気を集めるエリアになった。京都らしさを味わえる体験スポットを巡りつつ、伝統文化に触れる時間を過ごそう。



西京極駅　所在地／京都市右京区西京極西池田町
設置／1928年11月1日

幻の貨物路線計画

阪急京都本線の前身となる新京阪鉄道・新京阪線が開通した昭和3(1928)年頃、同駅の梅田寄りから西院駅の手前まで貨物列車を走らせ、大規模な貨物駅を作る計画が立った。結局、幻に終わったプロジェクトの痕跡は架道橋のみとなり、重厚感を醸すその姿が時の経過を感じさせる。



西京極総合運動公園　陸上競技場、野球場などを備えるスポーツ施設としては京都市内で最大の広さを持つ公園。園内で見つけた憩いのスポット芝生広場「緑の丘」は小高い丘の上に芝生が広がり、ゆったり寝転がりながら街を一望できる爽快感がたまらない。

八つ橋庵 かけはし
京土産の定番・生八つ橋の手作りに挑戦！

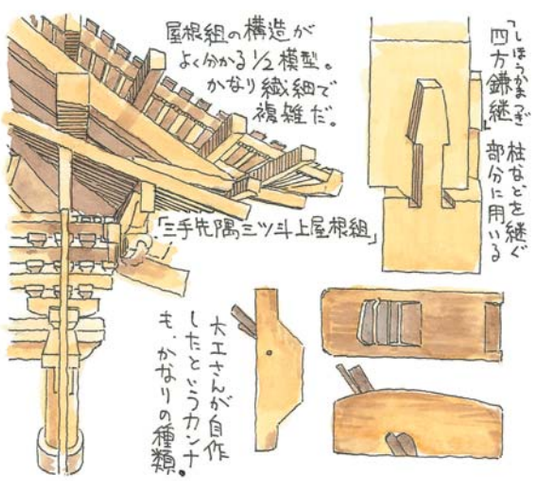
駅から北西へ歩いて約15分、住宅街に建つこちらの店は、抹茶の作法や和菓子作り体験、京のおばんざいがいただける食事処、京土産販売と、1カ所に京文化体験が集められたスポット。今回、挑戦したのは「生地から作る生八つ橋手づくり」体験。白玉粉、上新粉、グラニュー糖を混ぜ合わせた後、生地を蒸し、風味を付け、生地の形を整え、餡を包むまで、50分程で3種の生八つ橋が完成！ 出来立てだからこそ味わえるもっちり感がクセになりそう。

●3個900円（2名～）／9:00～17:00／無休／☎075・316・0415
◎昔ながらの道具を使って作る「京の生菓子ねりきり細工」3個1,400円（2名～）もおすすめ。いずれの体験も上記電話へ要事前申し込み。

奥谷組 社寺建築展示資料館
日本建築に隠された匠の技を知る

社寺専門の建築会社・奥谷組が技術の継承を目的に展示と解説を行う資料館。展示品は創業から124年の間に作成及び寄贈された模型や資料などで、中へ入ると壁を埋め尽くさんばかりのその量に圧倒される。中でも材料と材料を継ぐのに使われる「継手」、異なる部材を接合させる「仕口」は木造建築の要となる技術で、木造建築を見る際にはぜひ押さえたいポイントだそう。建物が完成すれば内部に隠れ、外観からはほとんど見えない匠の技の数々を、丁寧な解説と共に鑑賞していくと、これまで気になっていた社寺建築の疑問や謎がするする解けていくようで面白い！

●料金は志納／9:00～16:00／土・日曜・祝日は休／☎075・313・6533
◎見学は上記電話へ要事前申し込み、見学日時については要相談。



イラスト／綱本武雄(株式会社地域環境計画研究所)